

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 28日

名古屋市長 様

提出者

住 所 名古屋市中川区小碓通5丁目1番地

氏 名 中部鋼鈑株式会社

代表取締役社長 重松 久美男

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 052-661-3811

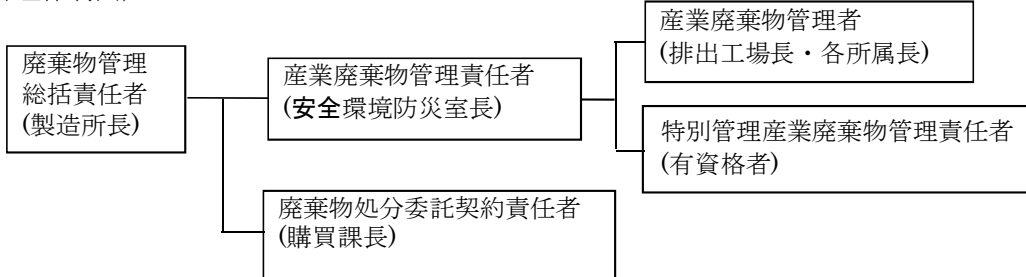
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中部鋼鈑株式会社
事業場の所在地	名古屋市中川区小碓通5丁目1番地
計画期間	2023年4月1日～ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	22 鉄鋼業
② 事業の規模	製造品出荷額 64,395（百万）
③ 従業員数	381人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	ばいじん(電気炉ダスト)：再生処理業者に依頼して亜鉛用原料等へ再資源化。 腐食性廃酸(リン窒素計廃液)：中和・焼却処理後、残渣をセメント原料。 引火性廃油(廃試薬)：再生処理業者に依頼して燃料等へ再資源化。

(第2面)

特別管理産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙1の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再資源化率の改善		
②計画	【目標】 別紙2の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 発生量の削減		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別管理産業廃棄物は別紙1(次ページ)記載の ばいじん(電気炉ガス)、PCB汚染物等、腐食性廃酸(リン窒素計廃液)、 引火性廃油(廃試薬)が発生しそれぞれに分別し保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項 なし			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項 なし			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量 した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量 する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項 なし

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙1の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 亜鉛用原料または燃料としての再資源化できる業者への委託変更および選択。		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙2の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組 織の使用に關す る事項	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物 を除く。）	6, 210. 14t	
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストの利用率100%を維持する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下、「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(2023年度)実績】

	廃棄物の種類	特定有害ばいじん	引火性廃油	特定有害廃酸	廃PCB等						
	名称(任意の名称を記入してください)	電気炉ダスト	廃試薬	廃試薬							
①	排出量(t)	6210	0.06	0.08	8						
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0						
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0						
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0						
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0						
⑩	処理委託した全量(t)	6210	0.06	0.08	8						
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	4985	0.06	0.08	0						
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	6210	0.06	0.08	0						
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0						

別紙2		【今年度(2024年度)計画】									
	廃棄物の種類	特定有害廃油	腐食性廃酸	引火性廃油							
	名称(任意の名称を記入してください)	電気炉ダスト	窒素・りん計 廃液	廃試薬							
①	排出量(t)	5656	0.08	0.06							
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0							
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0							
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0							
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0							
⑩	処理委託する全量(t)	5656	0.1	0.2							
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	4430	0.1	0.2							
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	5656	0.1	0.2							
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0							
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0							